

観光客の増加に資する事例

【愛媛県松山市 人口：505,562人（令和4年） 計画期間：平成26年11月～令和2年10月】

成果

【中心市街地内の観光客数（5施設）】

基準値 1,710,000人（H25）→**1,946,000人（H30）**

事業概要

【飛鳥乃湯泉・椿の湯施設整備事業】

新たな温泉施設（観光的施設）の整備

地域にさらなる活性化を促し、市民と観光客が歴史・文化を体感しながら交流できるよう、新たに「道後温泉別館飛鳥乃湯泉（椿の湯別館）」を整備。

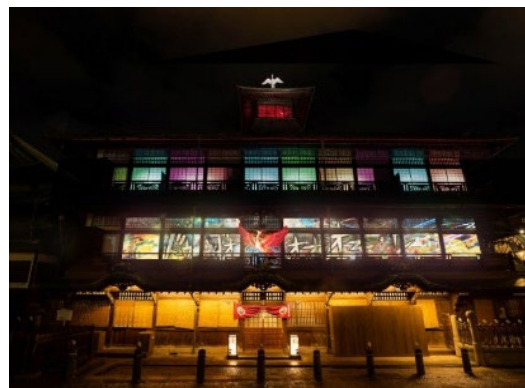
観光のシンボルである道後温泉本館では、文化財的価値を保存し、次代に松山の宝を受け継ぐため、平成31年1月から約7年間の保存修理工事を開始。全国初の取組みである重要文化財の公衆浴場を営業しながら保存修理工事を行うことで、工事中も入浴を可能にするとともに、道後温泉街を一望できる冠山の「空の散歩道」に眺望施設や足湯など休憩室を設けた。

【活用した支援措置】

- ・社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（道後文京地区）中心拠点誘導施設：商業施設）（国土交通省）（平成25年度～平成29年度）



<道後温泉別館 飛鳥乃湯泉の外観>



<道後REBORNプロジェクト：道後温泉本館プロジェクションマッピング>

取組のポイント

- ・新施設では、地域の活性化に寄与するため、魅力ある浴室及び休憩室に加えて、日本最古と言われる道後温泉にまつわる伝説や物語などを「愛媛の伝統工芸」と「最先端のアート」をコラボレーションした作品で演出するなど、来訪者が歴史・文化を体感しながら保養できる交流型施設、集客拠点とした。
- ・その他、手塚治虫のライフワークといえる「火の鳥」とコラボレーションした「道後REBORNプロジェクト」を展開し、保存修理工事を行いつつ、当該施設を観光資源として最大限活用できる仕組みとした。

【松山市概要】

中心市街地区域：約295ha

